

ぼらっち。



今回のクローズアップは、**スリーエス (SSS)** さんです。

スリーエス (Student Support Station) は、刈谷市で外国につながる子どもたちの学習を支援するボランティアグループです。活動は主に以下の2つです。

取り出し授業

市内の小中学校に出向き、別の教室で1対1での学習支援をします。
現在7校の小中学校から依頼を受け活動を行っています。

放課後教室

放課後、市民館に来た子どもたちに宿題、受験勉強などの学習指導をします。
現在5ヶ所の市民館と国際プラザで定期的に活動をしています。

★問合せ先★

代 表： 平野紀久子 連絡先：E-mail：h_kiku@hotmail.com TEL：0566-24-0575

スリーエス (SSS)

スリーエスは、外国につながる子どもたちの学習支援をするグループです。私が長年KIFA（刈谷市国際交流協会）で外国人への日本語支援をする中で、年々増え続ける子どもたちへの対応が必要であると感じていたとき、たまたま覗いた、あるシンポジウムで学校が困っていることを知り「やらせていただきたい」と声を出したのが始まりです。こうして2011年に団体として立ち上げました。



取り出し授業のようす

はじめは市内の小中学校へ行って、「ひらがな・カタカナ」など、その子の能力に合った日本語を別教室で教える「取り出し授業」から始めました。子どもたちの家では、親御さんが宿題のサポートをすることが難しく、また家と学校の行き帰りだけになりがちな彼らの居場所を作ってあげたいと思い、放課後教室も始めました。子どもの足で気軽に来られるように、毎年1ヶ所ずつ会場を増やし、今は市内5ヶ所の市民館などに、元気な子どもたちがやってきます。市外からも来る子もいます。



放課後教室のようす

ボランティアのメンバーは現在50名。大学生・現役の会社員・主婦・リタイアされた方などさまざまですが、確実にいえることは、みんな生きいきと活動していることです。この活動は外国につながる子どもたちへの支援だけでなく、これから増え続けるシニアへの支援にもなっているようです。

今年度、愛知県の「ボランティア活動功労者表彰」を受賞することができました。これも長きにわたるメンバー全員の熱意と誠意の結果であると思います。



行ってきました! スタッフレポート

小垣江小学校で行われている取り出し授業の見学に行ってきました。当日は4名の児童が来ていましたが、みんな国籍も学年もバラバラで日本語がまだ不慣れな子もいるため一人ひとりに合わせた学習内容を先生と相談しながら進めていました。

授業といえば、国語や算数の勉強と思っていましたがひらがなや漢字、計算や九九の他にも、かるたや絵本なども読んだりしていました。

遊んでいるようにもみえますが、普通の何気なく話す会話も日本語の勉強につながるため、興味のあることや好きなことから楽しく日本語を学べるよう工夫しているそうです。

お聞きした通り教室では笑い声も聞こえ楽しそうに笑顔で勉強していました。
(なおみ)



ボランティア 募集中です

★取り出し授業

平日、市内の小中学校で学習支援

★放課後教室

小垣江市民館

月・木 18:00~19:00

高津波市民館

火・金 17:30~18:30

一ツ木市民館

火・金 18:00~19:30

野田市民館

火・金 18:00~19:00

国際プラザ

水・金 17:30~18:30

詳細は代表の平野さんまで ☎

センターでのできごと



2023年5月～9月

放課後ちょこっとボランティアプロジェクト！第二弾



学生さんが気軽に立ち寄ってボランティアの体験ができる“ちょボラ”を今年も開催し、のべ19名の参加がありました。この活動が学生さんのボランティアのきっかけになってくれるとうれしいです。

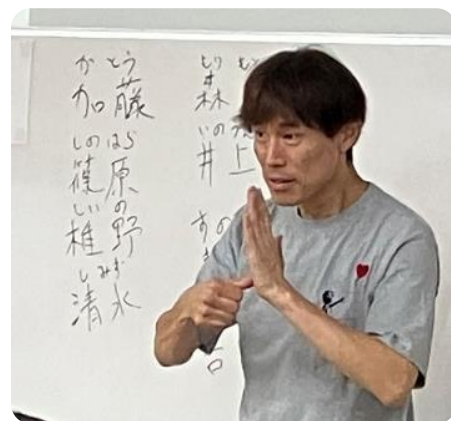
市民の皆さんにご協力していただいたベルマークを集計したところ「24,134点」になりました。12月にひかりっこ（社会福祉法人ひかりの家）さんへクリスマスプレゼントを贈る予定です。

第114回 スキルアップ講座 2023年8月26日(土) 手話で手話ばなしをしよう(初級編)

講師に刈谷手話サークル会長の須谷直樹さんをお迎えし、手話講座を開催しました。参加者は29名でした。

手話とは手や指の動作を使って表現することや、顔の表情も必要だと教えていただきました。一人ひとりが自分の名前や好きな色、数字を手話で実践しました。

参加者の方から「分かりやすくて楽しかった」「手話には意味があり覚えやすかった」「また開催してほしい」など嬉しいお言葉をいただきました。



第106回 車座集会 2023年10月1日(日)

だれ一人取り残さない共存社会を目指して

～「広い視野と希望を持って生きる子ども」を育てるプロジェクト～



講師にアジア子ども美術協会（ACHAA）代表の藤原孝太郎さんをお迎えし、車座集会を開催しました。参加者は32名でした。

特別支援学校の校長先生がなぜタイの子どもたちの支援に繋がっていったのかお話を伺いました。どうしたら支援できるのかを考えたときに、自分の得意なこととつながりを生かしてアートと車いすに結びついたそうです。

アートを通して皆平等である社会と、格差問題を共有できる子どもたちの育成を刈谷から発信していきたいと熱く語っていらっしゃいました。



2023年9月1日(金)～10月31日(火)

備蓄品（ローリングストック）展示

災害に備え、各家庭で食料などの備蓄はされていますか？最近の非常食は、バラエティに富んでいて、味も意外と美味しいです。

今、センターで缶詰やレトルトの非常食を展示しています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

ローリングストック
最低でも3日、できれば1週間
の食料、水、携帯トイレなど
備蓄しておきましょう。

買い足す

使った分だけ
買い足す



Voice & Voice



地域防犯パトロール隊の日々

暑い夏も終わり、虫の声が心地よく聞こえてくる季節となりました。私は地区の4つある防犯パトロール隊の分隊長を仰せつかっていますが、暑い日の児童の登下校の見守りは、隊員の熱中症に気を付けながらの日々でした。でも孫と同じ学校の児童との会話をしながらの道のは若返りの常備薬です。児童の登下校の見守りと月2回の地区巡回が主な活動ですが、盆踊り、運動会、秋祭りにも出動します。

定年後、すぐに地区役員を引き受けたときにパトロール隊にも入隊しました。田舎から出て来た私を、快く受け入れていただいた地区のみなさんへの恩返し、少しでもできたらと思いこれからも身体が動く限り活動していきます。(竹内)

おかげさまで20歳！！

10月1日、センターが20歳を迎えました。今まで支えてくださった皆さまのおかげです。ありがとうございます。

まだまだ、感染症の勢いが衰えておらず、以前のように感謝のふるまいなどはできませんが、センターのあゆみなどを展示していきますので、ぜひお立ち寄りください。

情報誌「ぼらっち。」も創刊号から展示し、希望者には配布しています。お問い合わせは載っていませんか？ぜひ探しにきてください！！



ボラセン絵日記byくみ



ぼらっち。電子版

センターに登録いただいている団体・個人様へお届けしている情報誌「ぼらっち。」は、新春号より紙面郵送から電子版となり、メルマガなどでリンクのお知らせに変わります。

なお、公共施設へは今まで通り紙面で設置させていただきますので、お立ち寄りの際にはお手に取ってくださいね。



刈谷市民ボランティア活動センター情報誌

ぼらっち。

■発行 刈谷市民ボランティア活動センター(109BOX)

(指定管理者：認定特定非営利活動法人 愛知ネット)

■住所/〒448-0842 刈谷市東陽町1-32-2 刈谷市民交流センター1階

TEL/0566-62-8231 FAX/0566-62-8232 E-mail/kcv109box@katch.ne.jp

開館時間/9：00～21：00

休館日/月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)、12月29日～1月3日

刈谷市民ボランティア活動センターHP <https://www.kcv109box.jp>

かりや衣浦つながるネット <https://tsunagaru.genki365.net/>



センターHP